

# 令和 6 年度 事業計画

岩室観光開発株式会社

## 事業方針

新潟市岩室健康増進センターは市民に保健、保養並びに交流の場を提供することを目的とし新型コロナウイルス感染状況を見極め、当施設的环境を鑑みて新型コロナウイルス感染防止による新生活スタイルを基に、お客様に安全、安心、快適にご利用していただけるようガイドラインを定め、さらに「おもてなしの心」で入館者を迎え癒しの場を提供しつつ多様化する市民ニーズに効率的に対応し、市民サービスの向上を図りより多くの市民が利用できる場所として活用されるよう施設運営を行う。

## 施設の現状と取組み

### 【温泉施設、よりなれ】

- ・新型コロナウイルス感染により令和 2 年 4 月 20 日から令和 4 年 1 月 11 日まで閉鎖していた無料休憩室を令和 4 年 1 月 12 日より再開した事もあり令和 5 年度の入館者は、新型コロナウイルス感染前の（平成 31 年度）の入館者数に戻りつつある。また、令和 6 年能登半島地震の関連かは定かではないですが、初めて利用される入館者が増えているように思われる。  
土日限定ではありますが、売店で軽食の販売も始め入館者にも喜ばれている。
- ・昨年予定していました、よりなれ 2F「健康増進室」を利用した入館者に無料で体験出きる健康器具及び体の矯正（カイロプラクティック等）が受けられる体験施術などの企業誘致ですが、新型コロナウイルス感染の影響など、企業との良いめぐりあわせが無く実現できなかった。  
今年度も引き続き誘致に向けて、取り組みたい。
- ・入館者、入館料ともにコロナ感染前の数に戻りつつある。（表参照）  
今年度は、入館者 5 万 1 千人、入館料 15,300,000 円（客単価 ¥300）を目標としたい。  
（表）

平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
52,890 人	34,669 人	43,895 人	48,211 人	51,075 人
14,708,200 円	9,108,200 円	11,729,400 円	13,075,800 円	14,526,500 円
客単価 278 円	客単価 267 円	客単価 267 円	客単価 271 円	客単価 284 円

※客単価が施設入館料の 300 円（無料タオル付）に満たない金額で推移している。

諸経費の値上がりなどを考えると、入館料の値上げ、無料タオルの有料化、障がい者の入館料無料を一部負担など、検討が必要な時期ではないかと思う。

## 【有料貸室、静閑荘】

- ・新型コロナウイルス感染により令和2年4月20日から令和4年1月11日まで閉鎖していた貸室を令和4年1月12日より再開しました。  
徐々にではありますが利用者も増えてきている。  
昨年12月中旬まで2F空調設備が故障していて、広間・エレベーターホール・玄関ホール事務所の冷暖房が使えず3Fで対応し、(何組かの団体がキャンセルになる)  
12月14日に修理も終わり冷暖房が使えるようになり団体の受入も可能になりました。
- ・令和5年8月22日に「健康体操」「入浴」「食事」付の健康教室を計画しましたが、参加者が定員に満たず中止しました。8月は地元及び近隣の各種イベントが重なり日程的にも良くなかった。また、参加費(3,000円)の見直し検討が必要  
(近隣のイベント参加費は概ね500円程度でした)  
空調設備も直ったので、今年度も内容を精査し計画したい。
- ・利用者の食事の提供については、提携店より弁当を手配し対応している。  
利用された方の評判は良いです。

※各貸部屋の活用につきましては例年通り取り組みます。

### 大広間・中広間の活用

- ・新潟市高齢者支援課福祉バス「見学・研修」の受入れ
- ・健康教室・ヨガ教室・講座などの実施

### 個室8帖・10帖の活用

- ・少人数・プライベート・静かに休憩したい方、お子様連れの方などの利用促進
- ・日帰り型ワーケーションなど新しい利用の仕方の提案

## 【食堂・厨房】

- ・令和元年7月29日にて売り上げの減少に伴い事業停止、その翌年(令和2年)に新型コロナウイルスの発症、感染が拡大し現在に至る。  
自主事業として営業していた食堂・貸室での宴席法事なども新型コロナウイルス感染により生活様式が変わり今後、宴席法事などの需要も見込めず事業としては再開は難しいが、入館者の利便性を考え食事の提供は考えたい。
- ・昨年に続き、出店希望者を募り食堂にテナントを誘致したい。(ラーメン店等)  
※昨年度、開志専門職大学の学生とのワークショップを開催(5回)し、今後の静閑荘の利用促進の検討をして頂いた結果、ラーメン店及びカフェ等の店舗経営に少ない経費で出来る業態が良いのではという提案を受けました。

## 施設運営における主な取組

- ① 日常作業マニュアルを活用し、お客様が快適、安全に利用できる施設を目指し、レジオネラ菌大腸菌群の自主検査は年 2 回実施、新型コロナウイルス感染症から来館者、従業員の健康を守る為、ガイドラインを定め感染症対策に努める。  
設備が古いので残留塩素等の調整が大変ですが、経験豊富な職員の努力で、快適・安全に努める。
- ② 緊急時に備え年 2 回消防訓練を実施しする。(6 月・12 月に実施)
- ③ アンケートにより入館者の意見、要望を把握し、接客トラブルに速やかに対処すべくスタッフとのミーティングをその都度実施し、お客様満足度の向上に努める。
- ④ 新潟市の指導、協力を頂き施設の運営・改善に取り組んでいる。

## 改修計画

- ① 源泉湯揚げポンプのメンテナンスについて、現在使用している源泉（4 号泉）になってから、ポンプの故障が頻繁になり、かなりの修繕費が掛かっている。  
(1 年でポンプ 2 台入替、修理 1 回)  
源泉組合も月々のメンテナンスを実施している「よりなれ」もポンプのメンテナンスを仕様に入れられるよう検討して欲しい。(見積は提出済み)
- ② 浴槽ろ過装置・塩素注入機配管等の改修を考える時期に来ているように思われる。(よりなれ改修 1995 平成 7 年、使用年数 29 年)  
ろ過装置、配管等に原泉並びに塩素等のスケールが堆積していると思われる。  
全てにおいて、レジオネラ菌の発生の原因になりかねないし、公衆衛生面で良くない。  
ハード面が正常に機能していないと、日々の洗浄、清掃、保守だけでは、完璧な管理は困難である。

※新潟市も次期指定管理公募の計画があるのであれば、①・②についてしっかりと検討して頂いた方が良いと思う。